



## ICTを活用した授業展開を紹介します！

今年度の指導室訪問や要請訪問では、先生方が主体的・対話的で深い学びを実現するために、1人1台タブレットを積極的に活用し、授業改善を進めている様子が見られました。今年度参観したICTを活用した授業展開の中から、事例を2つ紹介します。

市原市立菊間中学校 田村 なつみ 先生

第3学年 音楽 「八長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう」

八長調の音階の構成音やその和音の流れを理解し、表したいイメージについて思いや意図をもって、まとまりのある旋律をつくることを目標とした創作の学習です。



和音の構成音から音を選んでいく過程で1人1台タブレットの鍵盤アプリを使い、音のつながりを試しながら、旋律をつくります。

選んだ音にマグネットを置いて、僕のつくった旋律を紹介します。

タブレットでの演奏は、音色の変更や音量の調節が容易に行えます。飛沫の心配もないので、感染症対策にもなっています。

各自がつくった旋律を、全体に紹介して聴き合いました。

〇〇さんが選んだ音を、デジタル教科書ソフトに入力しますね♪



デジタル教科書の教師用PCに、選んだ音を入力すると、和音伴奏つきで旋律が自動再生されます。生徒は、「作曲ができた！」という喜びや達成感を味わうことができます。

ICTを活用することで、器楽演奏に苦手意識をもつ生徒も、得意な生徒と同様に、自分の表したいイメージを旋律に表すことができました。有効なICT活用のあり方を見せていただきました。



君津市立坂田小学校 伊藤 奈津美 先生

第3学年 算数 「表とグラフ」

資料を整理する観点に着目し、資料をわかりやすく分類整理するにはどうすればよいかを考え、棒グラフの特徴や使い方を理解することを目標とした導入の授業です。



児童の学習に対する関心や意欲を高めること、資料を分類整理する態度や能力を育てることをねらいとし、児童自身が資料を集め、分類整理する活動を取り入れます。今回は、学習素材として、学級レクで行いたい遊びの内容についてのアンケートを実施します。



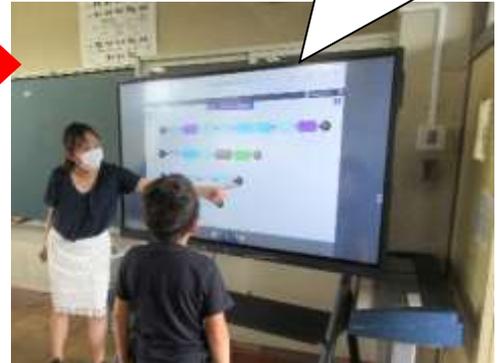
ごちゃごちゃしていて  
見づらいな…。  
同じ遊びをまとめよう！

児童は、各自のタブレットに意見共有支援ソフトを使って配付されたカードに、自分が学級レクで行いたい遊びの内容を書いて提出します。

すっきり！見やすくなった！

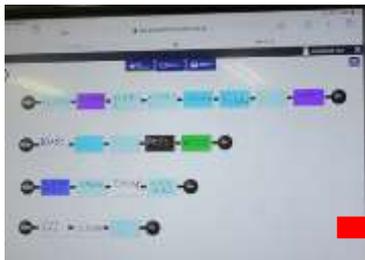
集まった全員のカードを見やすいように自然と分類整理を始めた様子から、児童が課題をつかんだことがわかります。よい導入になりました。

タブレットを使うことで、一人一人が何度も試行錯誤しながら、自力解決に取り組むことができました。

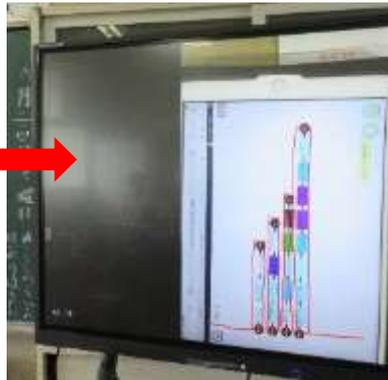


情報共有が瞬時にできる、トライ&エラーが容易であるというICTの利点を生かした授業です。

一人一人が課題意識をもち、十分思考しながら分類整理する活動に取り組むことができました。



分類整理したカードの枚数の違いが、数量の大きさの違いを一目で捉えることができる棒グラフの特徴とつながります。



その他にも、

【生活】おもちゃを作っている時の様子やおもちゃで実際に遊ぶ様子などを写真や動画で記録し、活動の振り返りで自分の気づきや成長を感じさせることにつなげるという実践

【国語】自分で書いた説明文を写真に撮って送り合い、どのような説明文を書いたのかを共有し、友達の説明文の良いところを見つけるという実践

【理科】「はさみ」や「割りばし」等のものの写真を意見共有支援ソフトのカードで配付し、タブレット内で電気を通すものと通さないものに仕分け、児童同士で意見交換をする実践などが見られました。来年度の教育活動に向けて、ぜひご参考にしてください。